

### 国分寺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例

この条例は、市が行う放課後児童健全育成事業の設備や職員の基準等を定め、良好な環境で、利用児童の心身が健やかに育成されるようにするものです。

委員会では「現状の学童保育所はこの条例に定める最低基準を満たしていないが、今後5年以内に解決できるのか。」「障害のある児童は中学3年生まで受け入れているが、条例にそれが明記されないなど、現状を下回る基準となっている。これでは保護者のニーズに応え切れない。」「補助金などで民間事業者が参入しやすい環境づくりを考えていく必要があるのではないか。」「児童福祉法の改正では、障害児の支援強化や放課後の充実を理念としている。それを踏まえた今後の施策の充実を望む。」といった質疑・意見がありました。

#### 委員会・本会議での採決結果

採決にあたっては、委員会、本会議ともすべ

て賛成多数で可決しました。

### 平成26年度国分寺市一般会計補正予算(第3号)を賛成多数で可決

この補正予算は、補正予算審査特別委員会(及川妙子委員長、幸野おさむ副委員長ほか6名で構成)を設置し審査を行いました。本案は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ7億1,439万2千円を追加し、総額を393億45万9千円とするともに、史跡武蔵国分寺跡公園用地先行取得ほか2件の債務負担行為補正や地方債の変更を行うものです。

委員会では、今年度から3年の債務負担行為を提案した光図書館業務一部委託事業について、図書館政策のあり方や業務委託の進め方、サービスのあり方などの質疑を行いました。また、ぶん馬車運行事業、社会保障・税番号制度導入に向けた電子計算事務、高齢者等見守り事業、予防接種事業、道路新設改良事業、消防団員活動事業などの質疑を重点的に行いました。

子育て世代臨時特例給付金給付事業では行政側の積算誤りを、西町地域センターのエレベーター故障に対する修繕では行政側の対応の遅れや指定管理者に対する市の管理責任について厳しく指摘しました。

採決にあたり、反対・賛成の立場からそれぞれ討論を行いました。

反対討論では、光図書館業務一部委託のサービス向上効果やコスト面への疑問、社会保障・税番号制度に対するプライバシー保護の不安や経費への懸念、西町地域センターのエレベーター故障に関連して指定管理者のあり方などがありました。

賛成討論では、行政側に西町地域センターのエレベーター修繕の遅れなどについて反省を促しながらも、今後より一層、熱意を持って積極的に仕事を遂行してほしいというものがありました。採決の結果は、委員会では賛成多数で可決し、本会議でも、賛成多数により可決しました。

市政を問

## 平成26年第3回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問の順番で掲載しています

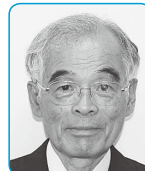
### 次の認知症対策は「認知症カフェ」早期開設



公明党 さの 久美子

1. 安全・安心のまちづくりについて
  - (1)防災訓練について 率先避難者を作るために実践的な防災訓練の実施を。市) 課長職でHUGを実施。医師会の訓練に参加し課題も見えた。
  - (2)耐震改修について 災害時、火災を防ぎ、家の倒壊を防ぐためにも耐震化が重要であり、共同住宅の耐震改修にも力をいれるべき。啓発のため、出前講座の検討を。市) 検討していく。
2. アレルギー対策について
 保育園でのアレルギー児対応に誠意で応えるために、アレルギー調理加算など考えるべき。市) アレルギー事故を防ぐため、栄養士会と研究中。できるところから取り組んでいきたい。
3. 中等度難聴児に対する支援について
 障害者手帳を受けられない軽度・中等度難聴児に補聴器購入費用の助成制度の確立を。市) 平成27年度より実施予定。多くの方に周知したい。
4. 健康診断の受診率向上について
 人の集まる場所に赴くなど発想を転換し、きっかけ作りをすべき。市) 課題としていきたい。
5. 認知症対策について
 (1)認知症スクリーニングシステムを導入し、認知症の早期発見をめざす市が次に取り組む課題は、認知症の方やその家族、地域の方が集える「認知症カフェ」。来年度開設を求める。市) 市としてどういう形ができるか検討していく。(2)地域で認知症理解者を増やすため、認知症サポーター養成講座の開催資格のあるキャラバンメイトの養成を求める。市) 市で、キャラバンメイトを増員できるような形で対応したい。

### 介護予防の取り組みの強化を！



自民党・市民クラブ 村松 俊武

- これからの国分寺市政の主な課題を質問いたしました。
1. 子育て支援の問題です。①まず待機児解消についてです。答弁は、恋ヶ窪駅の近くに80人規模の保育園の新設を進めている。今後とも待機児解消に精力的に取り組むたい。②小学生の学力増強の取り組みです。子どもの健全な成長には、大きな力になります。不登校やいじめ対策にもなります。教育長から、少人数指導に期待、学校で補習が大事、公民館を利用した補習などに努力しているとの発言がありました。③不登校は、教育の機会均等に反するので、全体でがんばる必要があると指摘しました。
  2. 高齢者支援についてです。介護予防の取り組みを強化することの重要性を訴えました。
  3. 緑の保全については、西恋ヶ窪緑地の公有化、恋ヶ窪用水路と樹林地の公有化に取り組んでいるとの部長答弁がありました。
  4. まちおこしは、地場産業、観光、まちなぎわいが必要です。市報で紹介したり、市民に知ってもらうことが大切です。家族であちこちまわってもらうのも活性化につながります。
  5. 道路について①国分寺駅北口再開発から北へのびる道路(3・4・12号)については、事業化にむけて準備をはじめたとのこと。もう1つは、熊野神社横の立体交差で、都が事業に着手し、30年度完了を予定しています。
  6. 庁舎建設について市長に伺いました。答弁は「新庁舎の建設はやっていく」「財調基金に積み立てられている庁舎基金は、戻す」でした。

### バリアフリー、ごみ有料化、学校のトイレ等



政策市民会議国分寺 及川 妙子

1. バリアフリーについて
  - (1)国分寺駅南口西側の歩道と車道の段差2cmについての市の考え方は？→2cmを標準としつつ交通環境の中でその場にあった対応をしていく。バリアフリー法にある「基本構想」をつくってはどうか？→地域福祉計画の中で検討したい。
  - (2)西国分寺駅南口のタクシー乗り場の縁石が20cmあり危ない。→2cmになるように工夫する。
2. 家庭ごみの有料化から1年たつての成果は？→もやせるごみは12.9%、もやせないごみは43.4%減量され、基金積み立ても1億8900万円になり目標を達成した。今後はリバウンド防止策などに取り組むたい。清掃センターの見学会をふやしたらいかがか。
3. 教育委員会の制度改正について=新教育長はいつできるのか？→今の教育長の任期満了時である平成29年5月になる。
4. 学校のトイレについて=ここ数年P連要望のトップがトイレの清掃と改修だがどうなっているのか？→来年2小と6小はトイレ改修する。5小は大規模改修の中で改修する。4小と10小はすでに終わっている。毎日のことで生活に密着している。最優先課題として取り組んで欲しい。
5. 中学生の持ち物について=カバンがものすごく重いかならないか？→家庭学習のために持ち帰らせている。家庭学習を否定しないが、もう少し子どもたちの立場にたって考えていただきたい。

### 次の定例会開催予定

平成26年第4回定例会は、11月27日(木)から開会の予定です。議会はどなたでも傍聴できます。審議に関連する資料も自由に閲覧できますので、ぜひこの機会に市議会を傍聴していただきますようお願いいたします。※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

市議会を傍聴してみませんか

### 音声配信について

市議会では、平成26年9月1日から5日に行われた第3回定例会「一般質問」の様子を、国分寺市議会のホームページで音声配信しております。ぜひご活用ください。